

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2021年2月1日	使用開始日	
登録診療科	内科	申請医師	檜原啓之
レジメン名	イミフィンジ+EP(小細胞肺癌)(ホスアプレピタント)		
疾患名	小細胞肺癌	適応の備考	進展型小細胞肺癌
適応分類	進行再発		4コース終了後、イミフィンジ単剤(維持療法)を用いる
1コース日数	21 日間	総コース数	4 コース 催吐性リスク day1 軽度、day2~高度
抗がん剤投与量・投与日 イミフィンジ1500mg/body(体重30kg以下の場合20mg/kg) day1、エトポシド 100mg/m ² day1,2,3、シスプラチン80mg/m ² day2			

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	1 時間	●																				
	点滴静注	イミフィンジ	1500 mg / body		●																				
体重30kg以下の場合、1回投与量は20mg/kg(体重)とする																									
3	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間	●																				
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●																				
抗がん剤の投与1時間前に30分かけて点滴																									
5	主ルート	ハロセトン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																				
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m ²		●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																									
7	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●	●																			
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分	●	●																			
8	主ルート	生食100mL	1 本 / body				●	●																	
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分			●	●																	
9	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●																		
	点滴静注	エトポシド	100 mg / m ²	1 時間	●	●	●																		
100mgあたり、250mL以上の生食液に混和																									
10	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
11	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●																			

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- イミフィンジ: 0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを使用して投与する。
- イミフィンジ: 希釈後の最終濃度を1~15mg/mLとする。
- イミフィンジ: 希釈は生食又は5%ブドウ糖液のみ。
- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- シスプラチン: 適宜、利尿剤を投与
- ホスアプレピタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレピタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ホスアプレピタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- エトポシド: DEHPフリー点滴セット使用。